



平成26年5月2日

各位

上場会社名 スターティア株式会社
 代表者 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷秀之
 (コード番号 3393)
 問合せ先責任者 取締役 兼 常務執行役員 経営企画室長 後久正明
 (TEL 03-5339-2162)

業績予想の修正及び配当予想の修正(増配・東証一部市場変更記念配当)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,160	800	800	400	79.81
今回修正予想(B)	8,167	829	856	432	85.50
増減額(B-A)	7	29	56	32	
増減率(%)	0.1	3.6	7.0	8.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	6,640	656	655	391	78.62

修正の理由

当社グループでは、平成23年5月25日に発表いたしました「中期3カ年経営計画」に基づき、売上高の持続的拡大と収益体質の確立を基本方針として、グローバルも含めた拠点展開の推進、ストック収益の向上、プル型による市場・顧客開拓力の向上、コーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでまいりました。

当第4四半期連結会計期間におきましては、特にフロー商材の販売が前年同期比約40%アップ、計画比19%超に推移したため、東京証券取引所における市場第一部への上場市場変更に係る費用等も十分にまかない、「中期3カ年経営計画」の最終年度の骨子である営業利益8億円を達成することができました。また、当社持分法適用関連会社である株式会社アバンプランが好調に推移したこともあり経常利益も好調に推移いたしました。

その結果、当連結会計年度における業績につきましては、平成25年5月10日に発表いたしました連結業績予想よりも売上高、利益ともに上方に乖離し好調に推移いたしましたので、この度、当連結会計年度における業績予想を上方修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年5月10日 発表)	—	0.00	—	7.98	7.98
今回修正予想	—	—	—	15.00	15.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	0.00	—	7.86	7.86

修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策と位置づけているとともに、経営基盤及び競争力強化のため、必要な内部留保に努め、中長期戦略に基づく株主還元の強化に努めてまいりたいと考えております。

こうした考えのもと、当社の剰余金の配当は、期末配当を年1回、配当金総額が連結業績の当期純利益の10%相当額となることを基本方針としております。

この方針のもと、平成26年3月期の期末配当金につきましては、普通配当を1株当たり7円98銭としておりましたが、当期の業績動向を踏まえ、57銭増配の8円55銭に修正いたします。

また、当社は、平成26年2月28日をもちまして、東京証券取引所マザーズから東京証券取引所市場第一部へ市場変更されました。これもひとえに株主の皆様方をはじめ、多くの関係者の皆様方のご芳情とご協力の賜物と心より御礼申し上げます。つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表するため、期末配当において1株当たり6円45銭の記念配当を実施いたしたいと存じます。

この結果、平成26年3月期の1株当たり期末配当金は、普通配当8円55銭に記念配当6円45銭を加え、合計で15円00銭とし、実施いたしたいと存じます。

なお、本件につきましては、平成26年6月17日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

※ご参考

当社の剰余金の配当は、期末配当を年1回、配当金総額が連結業績の当期純利益の10%相当額となることを基本方針としております。

当期におきましては、連結業績の1株当たり当期純利益は85円50銭でありますので、連結業績の10%相当額であります8円55銭を普通配当とし、これに記念配当6円45銭を加え合計15円00銭とし、実施いたしたいと存じます。

※上記の予想数値は、本日発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の決算数値とは異なる可能性があることにご留意ください。

以 上